

むごいほど、そなたは美しい。

囃 伊 右衛門

わら

いえもん

Eternal Love

唐沢寿明 小雪

香川照之 池内博之 六平直政・井川比佐志・MAKOTO 松尾玲央 藤村志保 椎名桔平

蜷川幸雄監督作品 原作：京極夏彦

『囃伊右衛門』（角川文庫／中央公論新社刊） 脚本：筒井ともみ 音楽：宇崎竜童

エグゼクティブ・プロデューサー：角川歴彦 企画：江川信也 プロデューサー：中川好久・道祖土 健・椿 宜和・前田茂司

撮影：藤石 修 照明：渡辺三雄 美術：中澤克巳 録音：中村 淳 編集：川島章正

製作：『囃伊右衛門』製作委員会（角川書店、あすか企画、レントラックジャパン、IMAGICA、ジャパン・デジタル・コンテンツ、東宝）

制作：トスカドメイン 制作協力：松竹京都映画 製作賛助：角川出版事業振興基金 配給：東宝

©2003『囃伊右衛門』製作委員会 第16回東京国際映画祭 特別招待作品 www.iemon.com

PG-12

12歳未満の方には、なるべく保護者が
同伴してください。

生涯一度の恋、それが悲劇のはじまりだった…。物語

かつて岩の顔が崩れる前に執拗に岩を求めていた筆頭と力・伊東喜兵衛（椎名桔平）は伊右衛門と岩の仲が睦まじいことが面白くなかった。伊右衛門と岩の絆はその深い思いを逆手にとった喜兵衛の奸計によって引き裂かれ、二人は別離を余儀なくされる。すべては運命と、世を捨て流されるままに生きてきた伊右衛門だったが、岩との愛だけは別だった。岩を取り戻すべく、伊右衛門は一命を賭してある行動に出る…。（上映時間2時間08分）

(上映時間2時間08分)



解説

江戸時代、怪談文芸の継承者たることを自他ともに認める京極夏彦が、「岩」の怨念による惨劇を描いた古典的名作である『四谷怪談』を、斬新な視点と独自の文体で全く新しい究極の純愛物語に再創造した渾身の原作を、世界的演出家・蜷川幸雄がその持ちうる演出力の全てをかけて映画化する。2つの美学のコラボレーションが生み出す最上級の悲劇は、力強く美しい作品として観客の魂を激しく揺り動かすことだろう。

蜷川VS京極
狂気とエロスに彩られた
美のコラボレーション

岩の顔は醜くゆがんでいるが、その精神はどこまでも高貴である。しかしそんな「岩」もやがては、人間の深い業の織り成す狂気の奔流の中で「正気」を保ちきれなくなっていく。恐ろしいが、美しい……「岩」。映画「喰う伊右衛門」では、従来の「四谷怪談」の「岩」のイメージを、根底から覆す神々しいまでに美しい「岩」が誕生する。

日本映画史上最も美しい
「岩」が生まれる。

心の底で激しく互いを求め合いながら、悲しい運命に引き裂かれていく「伊右衛門」と「岩」。二人をとりまく常軌を逸した情念の世界に生きる偏愛者たち。映画「囀る伊右衛門」は、愛と憎、美と醜、正気と狂気がダイナミックに絡み合いながら「究極のエロチシズム」を描く愛と激情の物語である。

「恨めしいほどに、愛しい。」
 《伊右衛門》と
 《岩》の激愛の物語